

第13回 第1章 現代の政治

第4節 現代政治の特質と課題

選挙と政治参加

講師
相原義信

学習のねらい

選挙権年齢が引き下げられて、10代の人が投票できるようになりました。どのくらいの人が投票したのでしょうか。現代の政治では、私たちの意見はどのように政治に反映されているのでしょうか。選挙のしくみや世論について学びましょう。

調べておこう
覚えておこう

政治資金規正法／一票の格差／公職選挙法／
無党派層／世論／小選挙区比例代表並立制／
ソーシャルメディア／二大政党化／マスメディア

※下記の空欄 _____ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

POINT 1

投票に行きたい？

- 2015年に^① _____ が改正されて、選挙権年齢が「満18歳以上」に引き下げられました。2016年の参議院選挙や、2017年の衆議院選挙では、若者の投票率はとても低い状況でした。2019年の参議院選挙でも、10代、20代の若者は三人に一人しか投票していません。
- 政治に関心がない人や、「候補者や政党のことがよくわからない」という人もいます。特定の支持する政党がない^② _____ の人は多くなっています。その中には政治に高い関心があって、選挙のときにどの政党が最もよいかを考えて投票する人たちもいます。
- 「自分の意見が政治に反映されていない」、「自分一人くらい投票しなくても、大きな影響はない」と考える人もいますが、仮に投票した政党が野党となっても、多くの批判票によって、与党は政策を進めるのが難しくなり、反対票でも与党に影響を与えることとなります。

POINT 2

選挙のしくみ

- 政治資金の改革で、^③ _____ が改正されて、政治家個人への企業や団体からの献金が禁止されました。政党助成法によって、政党交付金が支給されることになりました。
- 衆議院の選挙制度は、^④ _____ が導入されています。小選挙区制は、一つの選挙区から一人しか当選できないしくみです。候補者個人より、政党の政策を選ぶ選挙になりました。大きな政党に有利で、^⑤ _____ や政権交代が起きやすくなるといわれて

